

## 第46回アジア獣医師会連合 (FAVA) 代表者会議・ 第23回アジア獣医師会連合大会 (FAVA 大会 2024) 開催される

2024年10月23日大田コンベンションセンター（韓国大田広域市）において第46回アジア獣医師会連合 (FAVA) 代表者会議が開催された。

FAVAは、アジア太平洋の国々の27団体で構成される国際組織であり、アジア地域における獣医療の向上と動物福祉の推進を目的としている。

会議は、ホスト国である大韓獣医師会のホ・ジュヒョン会長、世界獣医師会 (WVA) のジョン・デヨン会長、FAVA会長として藏内勇夫会長の挨拶により開始された。

藏内会長のプレジデントレポートでは、任期中に FAVA 役員所属国をすべて訪問したことやオーストラリア獣医師会の継続加盟実現について報告された。また、世界獣医師会のジョン会長からは、世界獣医師会とのワンヘルスに係る MoU の発展に関する合意について報告された。

会長職の引継ぎ式では、藏内前会長から FAVA メンバー各国に対する感謝とともに、ワンヘルス福岡オフィスの設立やアジア大洋州獣医師会連合 (CMAAO) とのワンヘルス協定締結等の成果について述べられた。これに引き続き、新 FAVA 会長となったホ会長は今後、藏内前会長のリーダーシップにより発展したワンヘルスの取組を継承し、地域の人、動物、環境の健康に寄与していく決意を表明した。

また、次々期総会及び開催地の選定、規約の一部改訂について議論及び投票があり、現行の役員が継続してホ会長の新体制下で役員を務めること、2027年の開催地を台湾、2028年大会の開催地をアラブ首長国連邦（アブダビ）とすることが決定した。なお、2025年の次期総会はタイのバンコク、2026年の次期大会はフィリピンのセブでの開催がすでに決定している。

続いて、10月25日から27日の3日間、同会場にて「第23回アジア獣医師会連合大会 (FAVA 大会 2024)」が開催された。「A Way Forward: One for All, Asian Vets」をテーマに、32カ国から3,773名が参加し、78名の講演者による約480件の研究発表が行われた。

開会式は、韓国伝統太鼓によるパフォーマンスで幕を開け、大韓民国農林畜産食品部ソン・ミリョン長官をはじめ、大田広域市イ・ジャンウ市長、ジョン会長、駐韓国日本国大使館 水島耕一特命全権大使、農林畜産検疫本部キム・ジョンヒ本部長、アメリカ獣医師会サンド

ラ・フェイ会長、ホ会長らによる挨拶が行われた。

続いて、2022-2024 FAVA 会長である藏内会長から2024-2026 FAVA 会長となるホ会長への会長交代式が行われ、FAVAの団体旗が受け渡された後、ホ会長から、就任の挨拶が行われた。

その後、岸田文雄元内閣総理大臣からのビデオメッセージに続き、ソウル国立大学パク・ヨンホ教授による「ワンヘルスにおける獣医学の重要な役割」について基調講演を行った。

会場を移して行われた開会セレモニーでは、藏内会長、ジョン会長、ホ会長、FAVA 2024 組織委員会ジョン・インソン委員長、各スポンサー企業によるテープカットが行われ、大会が正式に開幕した。

大会期間中、小動物・産業動物・エキゾチック動物に関する専門研究発表や獣医学教育、動物看護に関する講演が行われた。また、102団体・企業による展示が実施され、韓国文化体験コーナーも設けられた。会場には救護室や礼拝室も設置され、参加者への配慮が行き届いていた。

初日夜には、ウェルカムディナーが開催され、ホ会長による最初の乾杯挨拶に続き、藏内会長、ジョン会長による乾杯の挨拶が行われた。

韓国の宴席では、信頼関係の構築や親睦を深める意味を込めて、複数回の乾杯が行われることが慣習となっている。この日も和やかな雰囲気の中、農楽やテコンドーなど観客参加型のパフォーマンスが披露され、会場は大いに盛り上がりを見せた。

2日目は、FAVAによるFAVA WAAW 2024セッション「The Continuing Advocacy of the FAVA Antimicrobial Stewardship, FAVA-AMS in Asia, and the Next Steps」が開催され、2021年からFAVAが取り組んできたAMR対策戦略について、アジア地域での具体的な成果と今後の展望が共有された。

夜には会場を移し、プレジデンシャルディナーが開催された。韓国の伝統楽器による優雅な演奏で幕を開け、VIPによる乾杯の挨拶に続いて、本大会への貢献が顕著なスポンサーの表彰が執り行われた。その後、現役獣医師で構成されるロックバンドによるパフォーマンスが行われ、普段の学術的な交流とは異なる一面を見せ、参加者たちは豪華な料理とともに賑やかな時間を過ごした。

最終日となる3日目には、FAVA-AAVS 獣医学教育シンポジウムが開催され、アジアからの留学生も多数参加した。WOAH（国際獣疫事務所）、FAVA 及びアジア地域の獣医師養成機関により組織される Asian Association of Veterinary Schools (AAVS)、そして開催国である韓国の獣医学教育について、それぞれの特徴や課題が共有され、会場は立ち見が出るほどの注目を集めていた。

また、この日は日本・韓国・台湾による東アジア3カ国会議も開催された。日本獣医師会からは藏内会長、鳥海 弘副会長が、大韓獣医師会からはホ会長、ジョン委員長が、台湾獣医師会からはジョンソン・チャン会長、シー・チンシェン副会長、フェン・ツォンホン副会長、チョウ・チンチェン教授が参加し、アジアの獣医学の発展に向けた率直な意見交換が行われた。3国間での連携強化と共通の目標に向けた協力について、具体的な取り組みを検討する会議となった。

閉会式では、大韓獣医師会のウ・ヨン Chol 副会長から本大会の成果について総括的な報告が行われ、続いてホ会長から FAVA 狂犬病排除宣言が行われた。

次回開催国であるフィリピン獣医師会のハリス・コンスタンティーノ会長からは、FAVA 2026 大会の成功に向け、多くの参加への期待を込めた挨拶があった。

最後に、FAVA 2024 組織委員会ジョン委員長が3日間の大会への謝意を述べ、アジアの獣医学の更なる発展への期待を込めて閉会の辞を述べた。



図1 第46回 FAVA 代表者会議の様子



図2 第46回 FAVA 代表者会議出席者による集合写真



図3 FAVA 大会 2024 開会式での韓国伝統太鼓によるパフォーマンス



図4 会長交代式の様子



図5 開会式出席者による集合写真



図6 テープカットの様子



図7 ウェルカムディナーで乾杯の挨拶をする藏内会長



図8 テコンドーの板割に挑戦する藏内会長



図9 FAVA WAAW  
2024セッション  
で挨拶をする  
藏内会長



図10 FAVA WAAW 2024セッション講演者との集合写真



図11 韓国の伝統  
弦楽器によるプ  
レジデンシャル  
ディナー開宴  
演奏



図12 プレジデン  
シャルディナー  
で乾杯の挨拶を  
する藏内会長



図 13 FAVA-AAVS 獣医学教育シンポジウムで挨拶をする蔵内会長



図 14 アジア留学生、東京大学 松脇貴志先生との集合写真



図 15 FAVA-AAVS 獣医学教育シンポジウム講演者との集合写真



図 16 東アジア 3 カ国会議後の記念撮影



図 17 閉会式での藏内会長とホ会長



図 18 閉会式での記念撮影